

## アグリ・ゲノム研究の総合的な推進（継続）

【 440（442）百万円】

### 対策のポイント

家畜やカイコのゲノム研究等の革新的技術を活用し、国民生活の向上やグローバル化に対応した農林水産業等の発展に直結する研究開発に重点的に取り組みます。

（革新的技術を生み出す様々な研究分野）

- ・ カイコはふ化から 25 日間で体重が 1 万倍になり、物質を生産する生物工場に適しています。
- ・ DNA マーカーを利用して、安全で消費者の好みにあった健康的なブタを作出できます。
- ・ ブタは食欲旺盛で飲酒も好み、臓器の大きさもヒトに近いので、肥満等の生活習慣病の研究モデルとして最適です。

### 政策目標

- 遺伝子組換えカイコによる有用物質生産技術を平成 23 年度までに開発
- DNA マーカーによりブタ抗病性、肉質等経済形質に優れたブタ系統を平成 23 年度までに作出
- 遺伝子組換え技術の活用により医療研究用モデルブタを平成 23 年度までに作出

### <内容>

#### 新需要の創造に向けた研究推進

昆虫・家畜を活用した新産業の創出に貢献するため、遺伝子組換えカイコを利用した医療・工業用新素材等の大量生産技術の開発、ヒトの医療研究用モデルとして利用可能な動脈硬化等生活習慣病のブタの開発等を行います。

<実施主体> 民間団体等

<実施期間> 平成 19 年度～平成 23 年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）  
(03-3502-7435（直））]